

(別添1)

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系斉内川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514		
事業名	雄物川水系斉内川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (施工場所 (所在地))	秋田県が管理する雄物川水系斉内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県大仙市清水 ~ 大仙市太田町斉内 地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和2年度~令和6年度 (5年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載	令和2年度	3,800		第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和3年度	3,100		
	令和4年度	3,000		
	令和5年度	3,500		
	令和6年度	3,500		
	計	16,900		
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度	20,500	20,500	0
	令和3年度	12,300	12,300	0
	令和4年度	10,200	10,200	0
	令和5年度	17,500	17,500	0
	令和6年度	10,000	10,000	0
	計	70,500	70,500	0
事業の必要性、 緊急性	・雄物川水系斉内川は大仙市に位置し流路延長21.9kmの一級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 ・斉内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は16.9千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和2年度~令和6年度の5年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ16.9千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	・基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等)			
その他 ※事業実施にあたり、環境、掘削土砂等の利活用、維持管理等の改善策などの方針等について、可能な範囲で記載	・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み)			

(別添1)

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系淀川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514		
事業名	雄物川水系淀川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (施工場所 (所在地))	秋田県が管理する雄物川水系淀川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県大仙市協和上淀川 ~ 大仙市協和船岡 地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度~令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m ³) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m²) 書きで記載</small>	令和2年度			第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和3年度		2,000	
	令和4年度		3,000	
	令和5年度		3,000	
	令和6年度		3,000	
	計		11,000	
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度			0
	令和3年度	12,300	12,300	0
	令和4年度	10,500	10,500	0
	令和5年度	16,400	16,400	0
	令和6年度	10,000	10,000	0
	計	49,200	49,200	0
事業の必要性、緊急性	<ul style="list-style-type: none"> 雄物川水系淀川は大仙市に位置し流路延長34.7kmの一級河川であり、氾濫等が発生し場合の被害は甚大である。 淀川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は11千m³であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度~令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ11千m³の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 			
河道の状態把握	<ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) 河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) 施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) 			

(別添1)

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系桧木内川 (一級河川) 担当課室名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514		
事業名	雄物川水系桧木内川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (施工場所 (所在地))	秋田県が管理する雄物川水系桧木内川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県大仙市下鶯野 ~ 仙北市田沢湖角館東前郷 地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度~令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) <small>※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載</small>	令和2年度			第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和3年度		1,000	
	令和4年度		1,000	
	令和5年度		1,000	
	令和6年度		1,000	
	計		4,000	
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度			0
	令和3年度	7,200	7,200	0
	令和4年度	11,000	11,000	0
	令和5年度	17,500	17,500	0
	令和6年度	10,000	10,000	0
	計	45,700	45,700	0
事業の必要性、緊急性	<ul style="list-style-type: none"> 雄物川水系桧木内川は仙北市に位置し流路延長33.2kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 桧木内川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下 (流下断面が阻害) されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は4千m3であり、早期の流下能力 (断面) 確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。 			
浚渫目標	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年度~令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ4千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。 			
河道の状態把握	<ul style="list-style-type: none"> 基本データの収集 (水位・雨量): 観測頻度 (通年) 河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度 (月1回等)、時期 (通年等) 施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度 (年1回等)、時期 (出水期前等) 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> 発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ※土質区分: 第4種建設発生土 (見込み) 			

(別添1)

令和5年度 緊急浚渫推進事業計画 (河川)				
		都道府県名 秋田県 市区町村名 河川名 雄物川水系丸子川 (一級河川) 担当課名 河川砂防課 連絡先 018-860-2514		
事業名	雄物川水系丸子川緊急浚渫推進事業			
事業の内容 (施工場所(所在地))	秋田県が管理する雄物川水系丸子川の堆積土砂掘削を行うもの。 浚渫予定箇所: 秋田県仙北郡美郷町金沢東根 ~ 仙北郡美郷町六郷東根 地内 【別図参照】			
実施予定期間	令和3年度~令和6年度 (4年間)			土質区分
予定事業量 (各年度の浚渫土砂量) (単位: m3) ※樹木伐採のみの計上が必要となる場合は、 (m2) 書きで記載	令和2年度			第4種建設発生土 ※目視による見込みであり、実際とは異なる可能性がある。
	令和3年度	2,200		
	令和4年度	3,000		
	令和5年度	3,000		
	令和6年度	3,000		
	計	11,200		
予定事業費 (単位: 千円)		事業費	地方債	一般財源
	令和2年度			0
	令和3年度	8,300	8,300	0
	令和4年度	6,700	6,700	0
	令和5年度	16,400	16,400	0
	令和6年度	7,000	7,000	0
	計	38,400	38,400	0
事業の必要性、 緊急性	・雄物川水系丸子川は大仙市に位置し流路延長19.1kmの一級河川であり、氾濫等が発生した場合の被害は甚大である。 ・丸子川では、これまでの出水等による土砂流出・堆積により流下能力が低下(流下断面が阻害)されており、現状でもその安全度は十分とは言えない状況にある。 ・令和2年度現在、河道内の土砂堆積量は11.2千m3であり、早期の流下能力(断面)確保に努めるとともに、定期的な維持管理が必要である。			
浚渫目標	・令和3年度~令和6年度の4年間で、河川環境の魚類等に配慮しつつ11.2千m3の堆積土砂掘削を行い、河道における一連の目標河道断面を確保する。			
河道の状態把握	・基本データの収集(水位・雨量): 観測頻度(通年) ・河川巡視: 実施場所、実施範囲、頻度(月1回等)、時期(通年等) ・施設点検等: 実施場所、実施範囲、頻度(年1回等)、時期(出水期前等)			
その他	・発生する土砂の運搬・処分等については、公共事業への再利用や、建設発生土情報交換システム等への登録等、より緊密な情報共有によって有効活用・コスト縮減に取り組む ・※土質区分: 第4種建設発生土(見込み)			